

実証運行地区におけるアンケート調査の実施について（案）

1. アンケート調査の目的

- ・現在、実証運行しているコミュニティバス萩の台線と北新町線について、利用状況が必ずしも当初の想定どおりではないことを踏まえ、提供しているサービスの妥当性や住民の意向を検証するため、沿線地区の住民を対象としたアンケート調査を実施する。
- ・そのため、住民の活動機会（日常生活においていつ、どこに行く必要があるのか）を調べるとともに、それに対応した公共交通サービスが提供されているのかを検証する。
- ・また、現在のコミュニティバスの利用のし方や利用に当たっての問題点などについて住民の意向を把握する。
- ・これらを通じて、提供すべきコミュニティバスのサービス水準について検討するとともに、運行を継続するための方策を検討するための判断材料を得る。

2. アンケート調査の企画（案）

(1) 調査対象

- ・コミュニティバス萩の台線、北新町線の沿線住民（ただし高校生以上）とする。

(2) 調査内容

① 日常生活における活動機会

- ・平日の日常生活でよく出掛ける外出先（出掛ける機会が多い2箇所）について、以下の項目を調査する。
- ・外出先の所在地（または具体的な名称）
- ・外出目的（通勤、通学、買い物、通院、その他の私用、業務など）
- ・外出頻度
- ・最も都合のよい目的地への到着時刻
- ・目的地で活動するのに必要な所要時間
- ・最も都合のよい目的地の出発時刻
- ・利用交通手段

② コミュニティバスの利用について

- ・日常生活におけるコミュニティバスの利用頻度、または利用する条件（どんな時に／どのような場合なら利用するか）

- ・コミュニティバスを利用しない理由、または利用する条件（どのような条件を整えば利用するか）

③ 個人属性

- ・性別、年齢
- ・居住地：駅やバス停までの距離
- ・運転免許の保有状況、自家用車の保有状況
- ・気軽に送迎を頼める人の有無
- ・身体機能の状況（一人で問題なく外出できる、体はつらいが外出できる、外出には介助が必要、外出できない）

(3) 調査方法

- ・世帯に調査票を3通ずつ配布し、高校生以上の世帯構成員全員の回答を求める。
- ・世帯人数が4人以上の場合は、年長者より3名の回答を求める。
- ・調査票は、次の2通りの方法で配布する。
 - ①コミュニティバスに調査員を添乗させ、復路降車時（居住地側で降車する際）に調査票を配布し、郵送回収する。（2日間程度実施し、萩の台地区50世帯分、北新町地区30世帯分程度の配布を目指す）
 - ②自治会を通じて世帯に調査票を配布し、郵送回収する。（萩の台地区300世帯、北新町地区100世帯程度配布し、それぞれ50%程度の回収を見込む）または、住民基本台帳より世帯を無作為抽出し、調査票を郵送配布・郵送回収する。（萩の台地区500世帯、北新町地区200世帯程度配布し、それぞれ30%の回収を見込む）

3. アンケート調査の企画のための事前ヒアリング調査

(1) 目的

- ・アンケート調査の調査項目（特に、コミュニティバスを利用する条件や利用しない理由等）の企画に必要な情報を得るため、対象地区の住民にヒアリングを行う。

(2) 実施方法

- ・コミュニティバスを利用している人、利用していない人、各5名程度ずつに参集いただき、コミュニティバスの利用状況などについて、意見交換会を開催する。

コミュニティバスの利用に関するアンケート調査票（たたき台）

＜例示：萩の台線＞

■ 日頃の外出についてお尋ねします。

日常生活において、外出回数が多い2つの外出について、以下の質問にお答え下さい。

問1 日常生活で、最もよく行く（出掛ける回数が多い）外出についてお尋ねします。

（1）最もよく出掛けられるのは、どのような目的の外出ですか？（○は一つだけ）

1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 定期的な通院 5. その他の私用 6. 仕事・業務 7. その他
8. 普段出掛けることはない・ほとんどない →（問3に進んで下さい）

（2）その行き先はどこですか？（○は一つだけ）

1. 新神田橋・小瀬町周辺（マックスバリュ、ダイキ、ケーズデンキ等）
2. 南生駒駅周辺（せせらぎ等） 3. 有里町周辺（田口クリニック、セブンイレブン等）
4. 近畿大学医学部奈良病院 5. 生駒駅周辺 6. その他生駒市内（地名：_____）
7. 奈良市内 8. その他奈良県内（_____）市 9. 大阪府 10. その他（_____）府県

（3）そこまで行くために、通常はどのような交通手段を利用されますか？（○はいくつでも）

1. 車を運転 2. 車に同乗 3. 電車 4. コミュニティバス（たけまる号） 5. 路線バス
6. タクシー 7. バイク・原付 8. 自転車 9. ずっと歩いて 10. その他（_____）

（4）そこには、どのくらいの頻度で行かれますか？（○は一つだけ）

1. ほぼ毎日 2. 週に4～5日 3. 週に2～3日 4. 週に1日 5. 月に2～3日 6. 月に1日
7. それ以下

（5）そこには、何時何分頃に着くのが最も都合が良いですか？バスや電車のダイヤなどに関わらず、ご自身が最も都合の良い時刻をお答え下さい。

午前・午後（_____）時（_____）分頃 ※午前・午後のどちらかに○をつけて下さい

（6）そこで用事（たとえば仕事や買い物、医療機関での受診など）を済ませるのに、どのくらいの時間が必要ですか？

早くすむときは（_____）時間（_____）分位、長ければ（_____）時間（_____）分位

(7) そこで用事を終えて、そこを発つのは何時何分頃が最も都合が良いですか？バスや電車のダイヤなどに関わらず、ご自身が最も都合の良い時間をお知らせください。

午前・午後（ ）時（ ）分頃 ※午前・午後のどちらかに○をつけて下さい

問2 2番目によく行く（出掛ける回数が2番目に多い）外出についてお尋ねします。

(1) 2番目によく出掛けられるのは、どのような目的の外出ですか？（○は一つだけ）

1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 定期的な通院 5. その他の私用 6. 仕事・業務 7. その他

(2) その行き先はどこですか？（○は一つだけ）

1. 新神田橋・小瀬町周辺（マックスバリュ、ダイキ、ケーズデンキ等）
2. 南生駒駅周辺（せせらぎ等） 3. 有里町周辺（田ロクリニック、セブンイレブン等）
4. 近畿大学医学部奈良病院 5. 生駒駅周辺 6. その他生駒市内（地名： ）
7. 奈良市内 8. その他奈良県内（ ）市 9. 大阪府 10. その他（ ）府県

(3) そこまで行くために、通常はどのような交通手段を利用されますか？（○はいくつでも）

1. 車を運転 2. 車に同乗 3. 電車 4. コミュニティバス（たけまる号） 5. 路線バス
6. タクシー 7. バイク・原付 8. 自転車 9. ずっと歩いて 10. その他（ ）

(4) そこには、どのくらいの頻度で行かれますか？（○は一つだけ）

1. ほぼ毎日 2. 週に4～5日 3. 週に2～3日 4. 週に1日 5. 月に2～3日 6. 月に1日
7. それ以下

(5) そこには、何時何分頃に着くのが最も都合が良いですか？バスや電車のダイヤなどに関わらず、ご自身が最も都合の良い時刻をお答え下さい。

午前・午後（ ）時（ ）分頃 ※午前・午後のどちらかに○をつけて下さい

(6) そこで用事（たとえば仕事や買い物、医療機関での受診など）を済ませるのに、どのくらいの時間が必要ですか？

早くすむときは（ ）時間（ ）分位、長ければ（ ）時間（ ）分位

(7) そこで用事を終えて、そこを発つのは何時何分頃が最も都合が良いですか？バスや電車のダイヤなどに関わらず、ご自身が最も都合の良い時間をお知らせください。

午前・午後（ ）時（ ）分頃 ※午前・午後のどちらかに○をつけて下さい

■ 日常生活における交通手段の利用についてお尋ねします。

問3 あなたは普段の生活でコミュニティバス（たけまる号）はどのくらいの頻度で利用しますか？（○は一つだけ）

1. ほぼ毎日
2. 週に4～5日
3. 週に2～3日
4. 週に1日
5. 月に2～3日
6. 月に1日
7. 年に数回
8. 全く利用しない・利用したことがない

問4 問3で1.～6.に○をつけた方にお尋ねします。コミュニティバスはどのようなときに利用しますか？（○はいくつでも）

1. コミュニティバスが通っている所に行くときにはたいてい利用する。
2. 普段は歩いたり自転車・バイクを利用するが、荷物が多いときには利用する。
3. 普段は歩いたり自転車・バイクを利用するが、雨が降っているときには利用する。
4. 普段は歩くが、暑いときには利用する。
5. 普段は送迎してもらうが、送迎できる人がいない時には利用する。
6. 普段は他の交通手段を利用するが、地域のコミュニティバスを残すために時々利用する。

問5 問3で7.～8.に○をつけた方にお尋ねします。コミュニティバスを利用しない、またはほとんど利用しないのは何故ですか？（○はいくつでも）

1. マイカーやバイク、自転車の方が便利だから。
2. 自分が行きたいところに行くコミュニティバスが走っていないから。
3. 自分が利用したい時間帯にコミュニティバスが走っていないから。
4. 高齢になってきたが、まだ自動車やバイクを運転できるから。
5. バス停までの行き来や乗り換えなどが不便だから。
6. 気軽に車での送迎を頼める人がいるから。
7. 目的地や駅が歩いて行ける範囲にあり、コミュニティバスに乗るほどでもないから。
8. 身体的な事情で、歩いたりバスに乗ったりして外出することが困難だから。

問6 最後にご自身のことについてお尋ねします。

(1) 性別・年齢を教えてください。

1. 男性 2. 女性 年齢（ ）歳

(2) お住まいはどちらですか。

1. 萩の台1丁目 2. 萩の台2丁目 3. 萩の台3丁目 4. 萩の台4丁目 5. 萩の台(旧集落)

(3) 何人家族ですか？ご自身を含めた家族の人数を教えてください。

()人

(4) 運転免許は持っていますか？(○はいくつでも)

1. 普通自動車(大型・中型含む) 2. 自動二輪 3. 原動機付自転車 4. 持っていない

(5) 運転免許をお持ちの方にお尋ねします。ご自身が自由に使える車やバイクはありますか？

(○はいくつでも)

1. 自家用車 2. 自動二輪 3. 原動機付自転車 4. ない

(6) 運転免許を持っていない方にお尋ねします。気兼ねなく送迎してもらえる人はいますか？

(○はいくつでも)

1. 同居家族にいる 2. 別のところに住む家族・親族にいる 3. 近所の方やヘルパーなどにいる

4. いない

(7) 外出に際して身体的な困難はありますか？(○はいくつでも)

1. 一人で問題なく外出できる 2. 体につらいところはあるが何とか一人で外出できる

3. 介助者や同行者がいれば外出できる 4. 身体的な制約があつて外出は困難である

アンケート調査の設問の意図や分析の方針について

質問項目	設問の意図や分析の方針
問1・問2	
(1) (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の生活で、主にどのような目的でどこに行くかを把握する。 →コミュニティバスの運行区域内を目的地とする人の動きがどの程度の量あるのか（またはどの程度の割合を占めるのか）を把握する。 →コミュニティバスの運行ルートなどが妥当であるかの検証に用いる。
(3) (4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の生活で、コミュニティバスがどの程度使われているのか（交通手段の利用に占める割合、利用の頻度）を把握する。 ＜問1 (1) または問6 (1) (2) とのクロス集計により＞ ・ どのような目的でコミュニティバスが使われているか（買い物や通院利用が多いと想定されるがそのとおりに）を検証する。 ・ どのような人（年齢階層や居住地）がコミュニティバスを使っているのか／使っていないのかを検証する。 →コミュニティバスの運行ルートが妥当であるかの検証に用いる。
(5) ~ (7)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 普段の生活で、何時頃に出掛けて何時頃に帰るのが最も都合が良いのか、また、外出先で用事を済ませるのにどのくらいの時間が必要かを把握する。 ※その際、現状のバスダイヤなどに縛られずに「自分自身にとって最も都合の良い時間」を把握する。 →提供しているコミュニティバスの運行時間帯や運行間隔、用事を済ませるのに必要な時間を考慮した帰りのバスのダイヤの妥当性などを検証する。 →その結果を現在のコミュニティバスのサービス水準（運行時間帯やダイヤ、便数）の見直しに反映する。 ＜参考＞ ・ 最も都合の良い時間帯の判断に際しては、「マイカーを利用できる人」が希望する時間帯を考慮する。マイカーは希望する時間に希望する場所に行きやすい交通手段であり、コミュニティバス利用者もマイカー利用者のような時間帯や行き先に本来は行きたいはずだ、という考えによる。 ・ 用事を済ませるのに必要な時間については、年齢別に分析する。他都市（兵庫県朝来市）での分析例では、大規模商業施設（イオン和田山店など）での買い物時間について、若い世代は20～40分程度であるのに対し、高齢者は1時間程度必要とするといった結果が得られている。また、医療機関での受診に必要な時間は年齢には関係が小さく、医療機関の種類（診療所か大病院か）によって異なるという結果も得られている。 ・ また、コミュニティバスを利用する人＝高齢者が希望する外出時間帯は買い物・通院ともに午前中に集中し、午後はほとんど希望がないこともわかっている。 →これを参考に生駒市での実態を把握し、コミュニティバスの運行計画に反映して、サービスを必要とする時間帯でのサービスの充実、必要性が低い時間帯でのサービス切り下げなどにより、サービスのメリハリをつけるとともに運行コスト削減を図る計画提案に結びつけたい。
問3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沿線地域の住民が、正味どの程度コミュニティバスを利用しているかを把握する。（利用頻度別の利用者数を整理し、頻繁に利用している人／少しだけでも利用している人／全く使わない人の割合を把握する）。
問4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沿線地域の住民がコミュニティバスをどのような場合に利用しているかを把握する。 →コミュニティバスの利用実態をより詳細に把握する。 →問3と合わせ利用者数の目標設定を検討するための材料とする。（採算性から設定する目標設定人数が、達成可能な水準にあるのかどうかの検証など）

質問項目	設問の意図や分析の方針
問 5	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスを利用しない人に着目し、利用しない理由を把握する。 →「利用したいが利用できない」人の有無やその原因を探り、必要に応じてそれらを解消するための施策を検討するための判断材料とする。
問 6 (4) ~ (7)	<ul style="list-style-type: none"> ・マイカー族／送迎族／公共交通族／の判定に用いる。 →その構成割合を把握するとともに、今後の公共交通族の人数の予測に用いる。 →アンケート調査の分析のキーとしても用いる。(公共交通族のコミュニティバスの利用実態の分析、日常生活の活動の分析など)